



楽しいプール 感染予防にも気を付けて！

令和元年 6 月 26 日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和元年 第 25 週分・6 月 17 日～6 月 23 日)

《 インフォメーション 》

● プールと感染症

プール開きの季節となりました。プール（ビニールプールなどの簡易プールを含む）を利用することで感染するおそれがある主な病気は、右表のとおりです。プールの中だけでなく、プールサイドや脱衣所、トイレにおいても、タオルの共用や不十分な手洗いにより感染が広がるので注意しましょう。

プールの管理者は、塩素濃度の確認などプール水の衛生状態に気をつけ、シャワーなどの付帯設備を定期的に点検し、支障がないことを確認しましょう。

保育所、幼稚園、家庭では、簡易プールで水浴びをすることがあると思います。簡易プールは塩素管理が難しいので、利用の都度水を入れ替えましょう。

利用者は、次のことに注意しましょう。

プールを利用することで 感染するおそれがある主な病気

- ・咽頭結膜熱(プール熱)
- ・手足口病
- ・ヘルパンギーナ
- ・流行性角結膜炎(はやり目)
- ・急性出血性結膜炎
- ・伝染性軟属腫(水いぼ)
- ・伝染性膿痂疹(とびひ)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(O157など)
- ・アタマジラミ症

- 発熱や下痢など、体調不良の時はプールを利用しないようにしましょう。
- 消毒用塩素は、水中に汚れがあると消毒効果が落ちます。プールに汚れを持ち込まないために、プールに入る前やトイレの後は、手洗いおよびシャワーで十分に体を洗いましょう。
- 乳幼児を連れた保護者は、お子さんを定期的にトイレに連れて行きましょう。
- タオル、クシ、ブラシの共用はやめましょう。

感染症を防いで 楽しい水遊び！

《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 4 件 (①30 歳代、男性 ②60 歳代、男性 ③80 歳代、男性 ④80 歳代、女性)
- 四類感染症 つつが虫病 1 件 (第 24 週診断分：80 歳代、女性)
- レジオネラ症 2 件 (①70 歳代、男性、肺炎型 ②90 歳代、女性、肺炎型)
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 件 (80 歳代、男性、G 群)
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 件 (60 歳代、男性)
- 梅毒 1 件 (第 24 週診断分：20 歳代、男性、無症候)
- 百日咳 15 件 (①～⑧全て 10 歳未満、男性 ⑨⑩ともに 10 歳未満、女性 ⑪～⑬全て 10 歳代、男性 ⑭⑮ともに 10 歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	感染性胃腸炎	7.21 (↓)	7.76
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.17 (↓)	2.24
3 位	手足口病	1.79 (↑)	0.31
4 位	伝染性紅斑	1.55 (↓)	1.59
5 位	咽頭結膜熱	0.90 (↓)	1.21
6 位	流行性角結膜炎	0.57 (↑)	0.43

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第25週 令和元年6月17日～令和元年6月23日）

分類	疾患	今週報告分（第25週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核	1	2			1	4	9	6	21	21	26	83
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	4		5	10
四類感染症	E型肝炎							2					2
	A型肝炎							1					1
	つつが虫病							1					1
	レジオネラ症				1	1	2			6	6	10	22
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	ウイルス性肝炎									1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									2	1		3
	急性脳炎											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1		1			2	3	3	8
	後天性免疫不全症候群											3	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	1			1	2	1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症									8	8	8	24
	水痘（入院例）							1				4	5
	梅毒									2	1	11	14
	播種性クリプトコックス症											1	1
	百日咳				4	11	15		4	4	27	51	86
	風しん								1			2	3
	麻疹									1	2		3
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ					4	4	1,426	912	3,119	1,691	3,666	10,814
						0.25	0.08						
	RSウイルス感染症	1				5	6	12	21	53	11	80	177
		0.25				0.50	0.21						
	咽頭結膜熱	4	1	5	6	10	26	111	18	205	44	146	524
		1.00	0.33	0.63	1.50	1.00	0.90						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	4	16	4	38	63	90	99	466	201	829	1,685
		0.25	1.33	2.00	1.00	3.80	2.17						
	感染性胃腸炎	38	32	42	7	90	209	794	617	977	407	2,439	5,234
		9.50	10.67	5.25	1.75	9.00	7.21						
	水痘			1		8	9	15	13	36	11	210	285
				0.13		0.80	0.31						
	手足口病	2		7	21	22	52	19	11	25	27	108	190
		0.50		0.88	5.25	2.20	1.79						
	伝染性紅斑	6	2	16	2	19	45	84	26	352	81	292	835
		1.50	0.67	2.00	0.50	1.90	1.55						
	突発性発しん		1	6		3	10	20	25	106	23	98	272
			0.33	0.75		0.30	0.34						
	ヘルパンギーナ	2		1		3	6	67	4	6	2	4	83
		0.50		0.13		0.30	0.21						
流行性耳下腺炎		1				1	1	6	7	1	16	31	
		0.33				0.03							
急性出血性結膜炎										12		12	
流行性角結膜炎				4		4	1	8	24	26	4	63	
				4.00		0.57							
細菌性髄膜炎											3	3	
無菌性髄膜炎							2					2	
マイコプラズマ肺炎								2	2			4	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							1		8	7	2	18	
インフルエンザによる入院患者（*）							41	42	52	98	99	332	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。